

## 「意欲と能力のある林業経営体」を支援 ～森林経営専門家派遣事業(リーディングプランナー)の活用～

### 1 はじめに

当センターでは、提案型集約化施策を推進するため、管内の意欲と能力のある林業経営体2事業体に対して、県が認定した岩手県森林施業リーディングプランナー(以下「リーディングプランナー」。)を講師とした研修会を開催しましたので、概要を紹介します。

### 2 研修の内容

#### (1) 研修①(A事業体)

A事業体は、これまで素材生産を中心に森林施業を行っていましたが、生産コスト管理に課題を持っていました。

そこで、リーディングプランナーの浄安森林組合 泉山 貢氏を講師に、伐採現場と室内で研修を開催しました。

研修には作業員を含めた8名が参加し、伐採現場で講師から現場管理やコスト管理について、講評を頂きました。

講評後、効率的な伐採と集材の連携方法などについて、出席者間で意見交換が活発に行われました。



室内研修では、講師から所属する事業体の日報管理や機械のコスト管理が解説され、現場ごとの実績等を事業体内で情報共有していることなどが紹介されました。

これを受けて、生産性の情報共有やコスト管理の必要性について、出席者の意見交換が活発に行われました。

#### (2) 研修②(B事業体)

B事業体は、これまで下請け主体で森林施業を行っており、生産コスト分析を行っていませんでした。また、将来的には施業集約化への取組を検討しています。

そこで、リーディングプランナーの有限会社二和木材 小笠原康偉氏を講師に、生産コスト管理の具体的な手法、自社での施業集約化の取組を解説頂きました。

B事業体からは代表者2名が出席し、日報管理からのコスト分析の手法や機械経費の算出方法等に質問が寄せられました。



### 3 今後の取組について

今回の研修終了後、A事業体では、市が開催したフリーGISソフト研修に参加し、ハンディGPSを活用した現場管理を検討しています。

またB事業体は、スマートフォンを活用した日報管理ソフトの開発など、両事業体とも施業集約化に向けた新たな取組を行っています。

当センターでは、引き続き施業集約化を推進する事業体の育成に取り組んでいきます。